

# マリナチュール 標準施工要領書 ver, 9

☆本製品を施工する前には、必ず下記の施工要領書をご一読ください。

## ★標準配合量

	マリナチュール	専用顔料(CWは無し)	清水(目安量)
コテ塗り	2kg/袋	1袋	約1.6~1.8kg(L)
ローラー塗り	2kg/袋	1袋	約2.4~2.6kg(L)
吹付(カップガン)	2kg/袋	1袋	約1.6~2.5kg(L)

- ・標準施工面積：コテ/5.0~6.0㎡、ローラー/8~10㎡ ・標準塗布量：約330~400g/㎡(コテ)
- ・標準塗り厚：コテ/0.5~0.7mm、ローラー/0.3~0.4mm ・作業可能時間：混合攪拌後4時間以内
- ・標準塗り回数：コテ/1回塗り、ローラー/2回塗り

※マリナチュールは内装専用製品です。浴室内等の常時水掛かり部分や外装には施工は出来ません。

## ★適合下地

- ・石膏ボード、ビニールクロス、合板、モルタル、コンクリート、プラスター、既存塗り壁等

## ★施工道具

- ・コテ塗り：ステンレスコテ(厚0.3mm)、プラスチックコテ、地べら等
- ・ローラー塗り：砂骨(マスチック)ローラー ※極細目を推奨
- ・吹付：リシガン、マルチガン等のカップガン ※エアレスは不可

## ★準備

- ・養生テープや養生シートを用いて、あらかじめ柱や床などの汚したくない箇所を養生します。
- ・ボードの継ぎ目やビス頭などの凹部は、市販パテ(※1)でパテ処理をして平らにしてください。
- ・合板や既存壁など汚れやアクが出る可能性のある下地の場合は、アク止め処理として、市販アク止めシーラー又はナチュラルシーラーを塗布してください。  
※下地により数回塗ってください。
- ・アク止め処理後、アクが出ない事を確認してからマリナチュールを施工してください。

※1：推奨パテ/メーコー/クリンナ ノンペーパーパテ

## ★混合攪拌

- ・先に専用顔料と清水(所定量の8割程度)を15~30秒程度混合攪拌、その中にマリナチュールを投入し混合攪拌します。さらに残りの清水を徐々に加えながら攪拌し、お好みの固さに練ってください。
- ・混合攪拌不良を防ぐため、高速ハンドミキサーで3~5分以上攪拌し、ムラの無いように混合攪拌してください。約10~20分程度練り置きしてから、再度3~5分程度攪拌して下さい。

## ★塗り付け作業

- ・コテ(1回塗り)やローラー(2回塗り)を用いて所定の塗り厚にて塗り付けをしてください。
- ・コテ塗りの場合は、塗り付け後、表面が乾かないうちに仕上げパターン付けを行ってください。
- ・ローラー塗りの場合は、ローラームラを無くすためにローラーを縦横に転がして、材料を平均に塗り付けてください。下塗り乾燥後(8時間以上)に仕上塗りをしてください。
- ・練った材料は、水分が蒸発しないように蓋等で密閉しながら、約4時間以内に使用して下さい。

## ★仕上げ上の注意

- ・水の引きなど乾燥具合を見ながら、手際よく仕上げのパターン付けを行ってください。

## ★仕上げ後の注意事項

- ・施工後は水分がたくさん蒸発しますので、十分な換気をし、よく乾燥するようにしましょう。

## 石膏ボード（新規）に直接施工する場合（新築など）

### ★施工前の注意事項

- ・石膏ボードは、天井面は9.5mm厚以上、壁面は12.5mm厚以上を使用してください。
- ・石膏ボードが問題なく張り込まれているか確認してください。
- ・石膏ボードが10～15cm間隔でビス止め(ステンレス又は高耐食ビス)されているか確認して下さい。
- ・ビス頭の凹部やボードの継ぎ目は、施工前日に市販パテ(※1)で平滑に埋めて下さい。
- ・開口部廻りに石膏ボードの継ぎ目がこないように注意してください。
- ・施工面以外は、汚れが付かないように養生してください。

※1：推奨パテ/メーコー/クリンナ ノンペーパーパテ

### ★施工手順

1. 石膏ボードを固定しているビスや釘の部分を市販パテ(※1)で平らに埋めます。
2. 石膏ボードの継ぎ目部分のV溝部のみを市販パテ(※1)で平らに埋めます。  
(再度上からパテ処理しますので、多少凹んでいるくらいで良いです)
3. 2の市販パテ(※1)が乾燥したら(施工後4時間以上)、その上からファイバーテープを貼り付けます。
4. ファイバーテープは、弱粘着で剥がれ易いので、すぐにその上からパテ処理をします。  
市販パテ(※1)をファイバーテープの上から幅15～20cm程度で、  
ファイバーテープのメッシュが隠れる程度の薄さで滑らかな坂になるような感じで塗りつけます。
5. 部屋の出隅部は、石膏ボードの上からストーンコーナーテープを貼付し、石膏ボードとコーナーテープに掛かるようにファイバーテープを貼付し、市販パテ(※1)で平らにパテ処理します。  
パテは角より多少出っ張る程度にし、乾燥後に細かいサンドペーパーにて整形します。
6. 部屋の入隅部は水性ウレタンコーキング材を充填し、滑らかになる様に指等で均します。  
(この処理は入隅部のクラック防止対策です)
7. 下地処理が終了後、乾燥したら(翌日以降)、マリナチュールを塗って仕上げます。

※1：推奨パテ/メーコー/クリンナ ノンペーパーパテ

## 下地が合板の場合

### ★施工手順

1. 石膏ボードと同様にパテ処理をしてください。
2. 合板はアクが出ますので、アク止め処理としてアク止めシーラー又はナチュラルシーラーを塗布(2～3回塗り)してください。
3. 下地処理が終了後、乾燥したら(翌日以降)、マリナチュールを塗って仕上げます。

## 下地がコンクリート・モルタル・プラスターの場合

### ★施工手順

1. アクが出る場合は、アク止めシーラー又はナチュラルシーラーを塗布(1～2回塗り)してください。
2. 乾燥後(12時間以上)、マリナチュールを塗布して仕上げます。

## 下地がビニールクロスの場合

### ★施工前の注意事項

- ・ ビニールクロスを剥がさずに、ビニールクロスの上から塗ることができます。
- ・ 凹凸のあるビニールクロスに塗った場合、1回塗りで仕上げると、クロスの凹凸模様が出てしまう事もありますが、予算と時間を抑えたい場合は、1回塗りをお勧めいたします。
- ・ 凹凸模様を出したくない場合は、凹んでいる部分を埋めるように全面に薄く、MN下地又はマリナチュールを塗ります。  
乾燥後(翌日以降)に仕上げ塗りでもう一回マリナチュールを塗ります。合計2回塗りになります

### ★施工手順

- 1, ビニールクロスの表面を濡れぞうきんなどで清掃してください。
- 2, タバコのヤニなどの汚れがある場合は、ピュアクリン等のクリーナーで清掃し、全面にアク止め処理として市販アク止めシーラー又はナチュラルシーラーを塗布(1~2回塗り)してください。
- 3, クロスの剥がれや浮きなどがある場合は、クロス糊等で貼り戻す又はクロスを切り取って市販パテ(※1)で平らに処理してください。

注：下地が石膏ボードの場合は、タッカー止めはしないでください。

ボードを痛める原因となりますし、石膏ボードにタッカーは止まりません。

- 4, 下地処理と養生が済みましたら、乾燥後にマリナチュールを塗布して仕上げます。
- 5, クロスの上から塗る場合は、凹凸の程度に寄りますが、平面(石膏ボード等)に塗る場合に比べ、3~4割程度材料が余分に掛かります。

※1：推奨パテ/メーコー/クリンナ ノンペーパーパテ

## ビニールクロス・布クロス・紙クロスを剥がして施工する場合

### ★施工前の注意事項

- ・ ビニールクロスを剥がす場合は、クロスの裏紙もなるべくきれいに剥がしてください。
- ・ 施工手順は下記の2種類があります。

### ★施工手順①

- 1, 汚したくない部分を養生テープや養生シートで覆ってください。
- 2, ナチュラルシーラーを全面に塗布して下さい。
- 3, 裏紙の剥がしムラによって発生したふくれ部分は、カッターで切り取ってから、再度、ナチュラルシーラーを塗布して下さい。
- 4, 下地処理後、乾燥したら(翌日以降)、マリナチュールを塗布して仕上げます。

### ★施工手順②

- 1, ビニールクロス又は塗装下地用クロスを捨て貼りします。
- 2, 養生後、その上からマリナチュールを塗布して仕上げます。

## 布クロス・紙クロスの上から施工する場合

### ★施工手順

1. 表面のほこり等を清掃します。
2. クロスの剥がれや浮きなどがある場合は、クロス糊等で貼り戻す又はクロスを切り取って市販パテ(※1)で平らに処理してください。

注：下地が石膏ボードの場合は、タッカー止めはしないでください。

ボードを痛める原因となりますし、石膏ボードにタッカーは止まりません。

3. 汚したくない部分を養生テープや養生シートで覆ってください。
4. ナチュラルシーラーを5倍に薄めて、表面に塗布します。  
吸い込みが大きいので、たっぷりめに塗ってください。※吸い込み止めになります。
5. 乾燥後(4時間以上)にナチュラルシーラーを薄めずに再度塗布します。
6. 下地処理後、乾燥(4時間以上)したらマリナチュールを塗布して仕上げます。

※1：推奨パテ/メーコー/クリンナ ノンペーパーパテ

## 下地が塗り壁の場合

### ★施工前の注意事項

- ・古い塗り壁はアクが出ますので、アク止め処理が必要です。
- ・施工手順は下記の2種類があります。

### ★施工手順①

1. ポロポロ剥がれてこない塗り壁(仕上げ部分)なら上塗りで仕上げる事が出来ます。
2. 塗り壁は、アク(シミのように変色してしまう)が出たり、水分の吸い込みが大きいので  
アク止め処理兼吸い込み止めとしてアク止めシーラー又はナチュラルシーラーを塗布します
3. 2が、乾燥したら(翌日以降)マリナチュールを塗って仕上げます。  
(塗り壁は吸込みが大きい為、ナチュラルシーラーの施工面積は標準施工面積の1/3~1/4になります)  
※アクが強い場合、ナチュラルシーラー1回塗りでは止まらない場合もありますので、  
乾燥後に確認して、アクが出ている場合は重ね塗り(2回塗り以上)をして下さい。

### ★施工手順②

1. ポロポロ剥がれてくる塗り壁(仕上げ部分)は、剥がしてからマリナチュールを塗る事をお勧めします。
2. 繊維壁(特に古い)は、剥がれやすいので、上から塗ることはあまりお勧めできません。
3. 塗り壁(仕上げ部分)の剥がし方は、霧吹きで水を掛けて十分に湿らせてから、金ヘラ(皮スキ)で剥がします。※塗り壁(仕上げ部分)の厚みは2~3ミリ程度なので、  
下地のプラスター(セメントのような部分)まで、削ってしまわないように注意してください。
4. 塗り壁は、アク(シミのように変色してしまう)が出たり、水分の吸い込みが大きいので  
アク止め処理兼吸い込み止めとしてアク止めシーラー又はナチュラルシーラーを塗布します。
5. 乾燥後(翌日以降)、マリナチュールを塗って仕上げてください。